

又藥舖ニ削リ防風、一名五島防風、木防風ト云アリ、是レ即防葵ナリ、毒草類ニ本條アリ、亦防風ニ非ズ、人參類ニテハ牡丹人參、御免人參ト稱スルモノナリ、此根白シテ大ナリ、堅ニ割テ乾ス、故ニケヅリ防風ト云、

又別ニ濱防風アリ、春中菜店ニ嫩葉ヲ貨リ食品トス、故ニ八百屋防風トモ云、又伊勢防風トモ云、海濱ニ自生ス、根皮黃赤ニシテ疙瘩アリ、常州、羽州、奥州肥前ノ五島ヨリ藥舖ニ出ス、是菜類ニシテ防風ニ非ズ、

〔農業全書四〕防風

是は藥種の防風にてはなし、海濱の和らかなる白沙に生ず、其莖あかく、その葉も其香も防風に似たる物なり、莖を取てわりて膾の具に用ひ、或酢にひたして食ふ、甚其香よく味よし、實を取て沙地の畠に植て、少手入すれば、よくさかゆるものなり、大邑に近き所は、多く實を蒔て作り、市町に出すべし、

〔剪花翁傳三〕

四月開花

防風 色白く、貌小細し、開花四月下旬より五月まで咲、方日向地干、土砂雜肥

淡小便、下種移とも、秋彼岸より十月までよし、

〔延喜式三十七〕

諸國進年料雜藥

駿河國十七種

略

防風、夜干、防己、各十斤、伊豆國十八種

略

防風十五斤、相模國卅二種

略

防風三斤、上野國十五種

略

防風六十斤、

〔毛吹草三〕和泉 防風

伊勢

二見防風

石見 防風

〔享保集成絲綸錄三十六〕貞享三寅年五月

覺○中

一ばうふう

二月節○中